



は いちはら福祉ネットの 通信

発行／中核地域生活支援センター
いちほら福祉ネット
(千葉県委託事業)

☎ 0436-23-5300
FAX 0436-23-5225
Mail ichihara_f.net@bh.wakwak.com
HP http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/

VOL. 66
2023.7.1発行

誰ひとり取り残さない 地域共生社会の実現をめざして



～地区福祉総合相談センターの奮闘～

いま、皆さんにはお困りごことがありますか？周囲に気がかりな方はいますか？

生活しているといろいろなことが起こりますね。良いことばかりではなく、時には困難なことも。そんな時、頼りにしてほしいのが相談窓口です。でも、いくつもの問題が重なり合っているときには、なにかから相談したらよいのか、どこに相談したらよいのか迷いますね。どうしたら良いのでしょうか？

福祉行政の“これまで”と“これから”

これまでの福祉行政は、高齢・介護・障害・児童・生活困窮といった年齢別・困りごと別に窓口が設置されてきました。これは、設置の根拠となる法律がそれぞれ異なるためです。そして、それぞれの窓口でご本人が訴える困りごとに対応できる福祉制度やサービスにつなげる対応が主でした。その際には「申請主義」といって自主的な申請をすることが前提とされてきました。

しかし、世の中の状況が大きく様変わりし、1つの世帯の中にいる何人もの方が同時に困りごとを抱える、1人の人が複数の困りごとを同時に抱える、ということが増えてきました。問題があれこれありすぎて、なにかから相談したらよいのか、どこに相談したらよいのかわかりません。さまざまな困りごとの内容やご本人の状態によっては、福祉制度やサービスの要件に当てはまらないこともあります。勇気

をふりしぼって相談に行ってみても、いくつもの窓口で同じ話をして…1つ1つ手続きをして…疲れ果ててしまいます。相談先を知らない人もいます。ひきこもり状態やさまざまな事情で窓口まで行けない人もいます。自分が福祉の手助けが必要な状態だということに気がついていない人もいます。

窓口で待つだけのこれまでのしくみでは、このような状況に対して十分な対応ができず、必要な支援が届かずに問題が悪化することがありました。



そこで国は、分野や世代を問わずに相談を受けとめ、複雑な困りごとを整理して、関係する支援機関と一緒に支援していけるように相談体制を整えました。これを「包括的相談支援」といいます。

さらに、相談機関はただ待つのではなく出向いて地域のなかで助けが必要な人に手を差し伸べ、関係機関との会議や地域住民のつながりから潜在的な相談者をみつけ、ご本人との信頼関係を築き支援に向けた働きかけを行うこととしました。これを「アウトリーチ等を通じた継続的な相談支援（以下アウトリーチ支援）」といいます。

市原市における相談体制の進化 9つの「地区福祉総合相談センター」

このような国の動きを受け、**包括的相談支援**を展開するため市原市では、令和3年4月に“断らない相談窓口”として市役所内に「市原市福祉総合相談センター」を設置しました。そして**包括的相談支援**と**アウトリーチ支援**を強化するため、その翌年の令和4年4月、市内9カ所の地域包括支援センター（以下：包括センター）に「**地区福祉総合相談センター（以下、地区センター）**」の機能を追加しました。

包括センターはこれまで高齢者や介護の総合相談窓口として相談支援を行ってきましたが、地区センターの機能が追加されたことで支援対象が全ての世代の住民へと広がりました。もともと持っていた地域のネットワークを生かしながら、相談内容に応じて適切な支援機関につなぐほか、複雑な悩みごとにも関係機関と共に対応しています。



市福祉総合相談センターと9カ所の包括センターは毎月、連絡会議を開催し、情報交換や勉強会、外部会議の報告や一緒に行う行事の打ち合わせなどを行っています。新たな役割を受けて悩みや戸惑いも多い中、このようにして協力しあい地域の包括的相談体制を整えています。

実際の様子を教えてください

Q 相談が寄せられるとどのように動くのですか？

 相談が入ったら、まず職員が複数体制で自宅まで訪問しお悩み事や生活状況についてお話を聞きます。その後は内容に応じて必要な支援につないだり、関係機関と共に動いたりして対応します。

 ご家族や近隣の方が心配してご相談くださった時は、一緒に訪問してもらうことがあります。民生委員さんも心強い味方です。

Q 以前と比べて相談内容に変化はありましたか？

 割合としては従来の高齢の介護に関する相談が多いですが、家族の相談も少しずつ増えてきました。

 8050世帯（高齢の親と子）と言われる家族で、介護の問題やひきこもり状態、失業や病気などいくつもの困りごとを抱えていることが多いです。

 住まいと仕事がなくなって困る人の相談が入ることもあります。

 精神的な疾患や何らかの障害をもっている人の相談も増えています。そのような相談が入ったら、市の障がい者支援課や民間の相談支援事業所と協力しながら対応しています。

おわりに

包括センターの皆さんが、市民の皆さんのお困りごとに真剣に向き合い、市原市の包括的相談支援体制が進化していると感じます。中核センターは、これからも一緒に取り組んでいきます。

誰にも話せず一人で抱え込んでしまっている人があなたの近くにいるかもしれません。ぜひ、相談してみてください。



地域包括支援センター (地区福祉総合相談センター)

しおみ（姉崎、五井西圏域）
TEL 26-5151 FAX 26-5171

たいよう（青葉台、有秋、五井南圏域）
TEL 63-4016 FAX 63-4017

ごい（五井東圏域）
TEL 25-5111 FAX 25-5110

こくぶんじ台（国分寺台圏域）
TEL 37-3232 FAX 67-1601

ふるさと（市原北、市原西圏域）
TEL 75-2005 FAX 74-3535

たつみ（市原東、辰巳台圏域）
TEL 75-6633 FAX 75-7733

市津・ちはら台（市津、ちはら台圏域）
TEL 67-1520 FAX 67-1521

ひまわり（三和、南総北圏域）
TEL 37-7222 FAX 36-7667

トータス（南総西、南総東、加茂圏域）
TEL 50-6262 FAX 88-2010

千葉県中核地域生活支援センター大会 in 2023

【テーマ】総合相談って何？ ～相談支援の根っこを考える～(仮)

【日時】2023年8月21日(月) 13:00～16:30

【内容】中核センター活動白書2022報告、基調講演、クロストーク

【場所】千葉県社会福祉センター(千葉市中央区千葉港4-5)

【参加定員】申込制、詳細はお問合せください

【問い合わせ先】いちほら福祉ネット



スタッフ紹介

昨年度に引き続きよろしくお祈いします。

- 所長兼地域総合コーディネーター 大戸 優子
- コーディネーター 三森 理美
- サブコーディネーター 岩永 マキ

新たに加わりました！

● サブコーディネーター 石橋 正治

4月に教育分野から入職しました。教育に足場を置いて教育と福祉の連携を目指してきましたが、これからは福祉に足場を置きます。教育と福祉の共通点は「人」中心であることです。「人」中心とは、その人を丸ごと後押しすることです。中核には、福祉を更に「人」中心に持つていこうとする使命感を感じます。この使命感には心を動かされます。ふたりの「はやお」がヒーローでした。宮崎駿と河合隼雄です。宮崎駿の最高傑作は「千と千尋の神隠し」、一番好きな作品は「紅の豚」です。河合隼雄は臨床心理学者で日本人の「心」の研究の第一人者です。河合隼雄の本は生徒に接する際の私のバイブルでした。私自身何度も救われました。「人」中心であるための強い味方です。人を丸ごと後押しできるよう全力を挙げます。よろしくお祈いします。



ホームページ開設！

障害者グループホーム等支援ワーカーの大宮です。2年目を迎えました。今年度もよろしくお祈いします。

この度、千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会のホームページが開設されました。広報紙「暮らしを拓く」や事業白書等がご覧になれたり、開設支援講座や過去のグループホーム講座などの動画を観ることもできます。講座や大会等の最新情報も掲載。グループホームについて、様々な情報を得ることができるホームページとなっております。是非、一度、ご覧ください。

ホームページへは、右記のURLへ (<https://chibaghw.org>)

リニューアルした「いちほら福祉ネット」のホームページからもアクセスできます。





旬の食材を使ったヘルシーメニュー

疲労回復！ 夏バテ予防！ 鶏肉の梅焼き (1人分：219Kcal)

材料(4人分) 鶏もも肉 90g×4切れ、みょうが 30g、ブロッコリー 90g
 〈下味用(生姜汁 小さじ1、酒・みりん 各大さじ1弱、醤油 大さじ1.5)〉
 〈梅だれ(梅干し 中粒2個、みりん 大さじ1.5弱)〉
 〈甘酢(酢 大さじ1弱、砂糖 小さじ1弱、塩 ひとつまみ)〉

- 作り方…① 鶏肉を下味用の合わせ調味料に漬ける。
 ② すり潰した梅干しとみりんを合わせて梅だれを作る。
 ③ ①の鶏肉に②の梅だれを塗って焼く。
 ④ 薬味切りしたみょうがを湯通しし甘酢に漬ける。
 ⑤ ④を③に天盛りし、付け合わせにブロッコリーなどを添える。

栄養士さんからのおすすめの一言・・・

「梅干しに含まれるクエン酸には疲労回復効果があります。また、みょうが特有の香りα-ピネンという成分には血行・消化促進効果があり夏バテ予防も期待できます。」

今回のレシピは、特別養護老人ホーム辰巳萬緑苑 管理栄養士の佐久間 愛美様・篠原 なつほ様に提供していただきました。

いちほら福祉ネット活動報告(1月～4月)

〈会議〉

- ・市原市総合計画審議会 2/15,3/22
- ・市原市相談機関連絡会 1/17,2/21
- ・重層的支援体制整備事業における多機関協働事業の実施状況に関する実態把握及び効果的な実施方法に関する調査研究事業 検討委員会 3/29
- ・市原市認知症対策連絡協議会 総会 4/20
- ・市原市認知症対策連絡協議会 役員会 4/6
- ・市原市認知症対策連絡協議会 定例会 1/19,4/20
- ・市原市要保護児童対策地域協議会 実務者会議 1/31,2/28,3/28,4/28
- ・市原市特別な教育的支援を必要とする児童生徒に係る支援会議 2/17
- ・県立生浜高等学校 学校運営協議会 1/19
- ・NPO法人ちばこどもおうえんだん 理事会 4/20
- ・市原市障がい者支援協議会 運営会議 3/6
- ・市原市障がい者支援協議会 権利擁護部会 事例検討会 2/21
- ・千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 市原圏域実務者会議 2/20,4/17
- ・ぴあ基金運営委員会 2/4
- ・リカバリーカレッジ市原準備会 1/31,2/20
- ・ダイバーシティ就労地域ネットワーク協議会 3/10
- ・市原地域リハビリテーション広域センターちき会 1/20,2/17,3/23,4/21
- ・市原市成年後見制度利用促進審議会 1/30
- ・加茂地区民生委員児童委員協議会 1/17,2/14,3/14,4/18
- ・市原市社会福祉協議会 理事会 3/20
- ・千葉県社会福祉協議会 政策調整委員会 2/27
- ・中核地域生活支援センター 評価会議 3/9
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 総会 4/25
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 定例会 1/24,2/28,3/28,4/25

〈研修〉

- ・千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 市原圏域研修会 1/16

- ・ダイバーシティ就労実践報告会 3/10
- ・司法と福祉のちばモデル勉強会 1/30,2/27,3/5
- ・外国人相談担当者意見交換会 2/22
- ・ちこネット実務者ミーティング 2/18
- ・がじゅまる研究会 2/4,4/22
- ・重層支援研究会 3/4
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 研修会 1/18
- ・中核地域生活支援センター連絡協議会 学習会 3/15
- 〈その他〉
- ・みんなの寺カフェ(見学) 4/9
- ・加茂地区民生委員児童委員協議会 定例会(事業説明) 2/14
- ・青葉台地区福祉介護相談(出張相談) 1/17,2/21,4/18
- ・ちはら台地区福祉の総合相談(出張相談) 1/21,2/18,3/18,4/15
- ・中核地域生活支援センター連絡調整会議 障害部会(運営) 1/26
- ・市原市多分野連携フォローアップ研修(運営) 2/14,3/13
- ・相談援助職のためのそこが知りたい勉強会(運営) 2/24
- ・市原市参加支援の場づくり事業[みんなのたのカフェ](運営) 1/17,2/15,3/29
- ・校内居場所づくり事業[生浜高校居場所カフェ](運営) 1/23,3/24

いちほら福祉ネットへの相談件数 (速報値)

令和5年1月～令和5年4月

延相談件数 1,357件(新規79件)

相談方法	電話	1,061件	対象者	高齢者	190人
	訪問	216件		障害者	473人
	来所	70件		児童	49人
	関係者会議	10件		その他	645人

令和4年度(4月～3月)

延相談件数 4,428件

編集後記



いつもはーと通信をご愛読いただきありがとうございます。今年度のはーと通信は7月・11月・3月の年3回発行となります。そして5月より当センターのホームページが新しくなりました。より一層情報発信に力を入れていきますので、ぜひご覧ください。(スタッフ一同)